


ほの香 取付け説明書



- ここに示した注意事項は製品の性能・機能および強度や安全性を確保する上で重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。
 - 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- ※ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品破損・落下による人への被害、物的損害が想定されますので下記事項をお守りください。

■設置条件

- ・母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。
- ・本製品は木造住宅の2階以下に取付ける設計となっております。3階以上の高所には取り付けないでください。
- ・崖っぶちなどの高低差のある場所には設置しないでください。

■躯体への固定

- ・母屋の構造材が入っている場所へ取り付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。

■部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。

■絶縁処理について

- ・アルミ形材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■施工上について

- ・水平、垂直、対角は正確に測ってください。施工、開閉に支障がでるおそれがあります。
- ・当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
- ・強風（10m/s以上）の時、または突風が予想される場合は、必ずスクリーンを巻き取ってください。

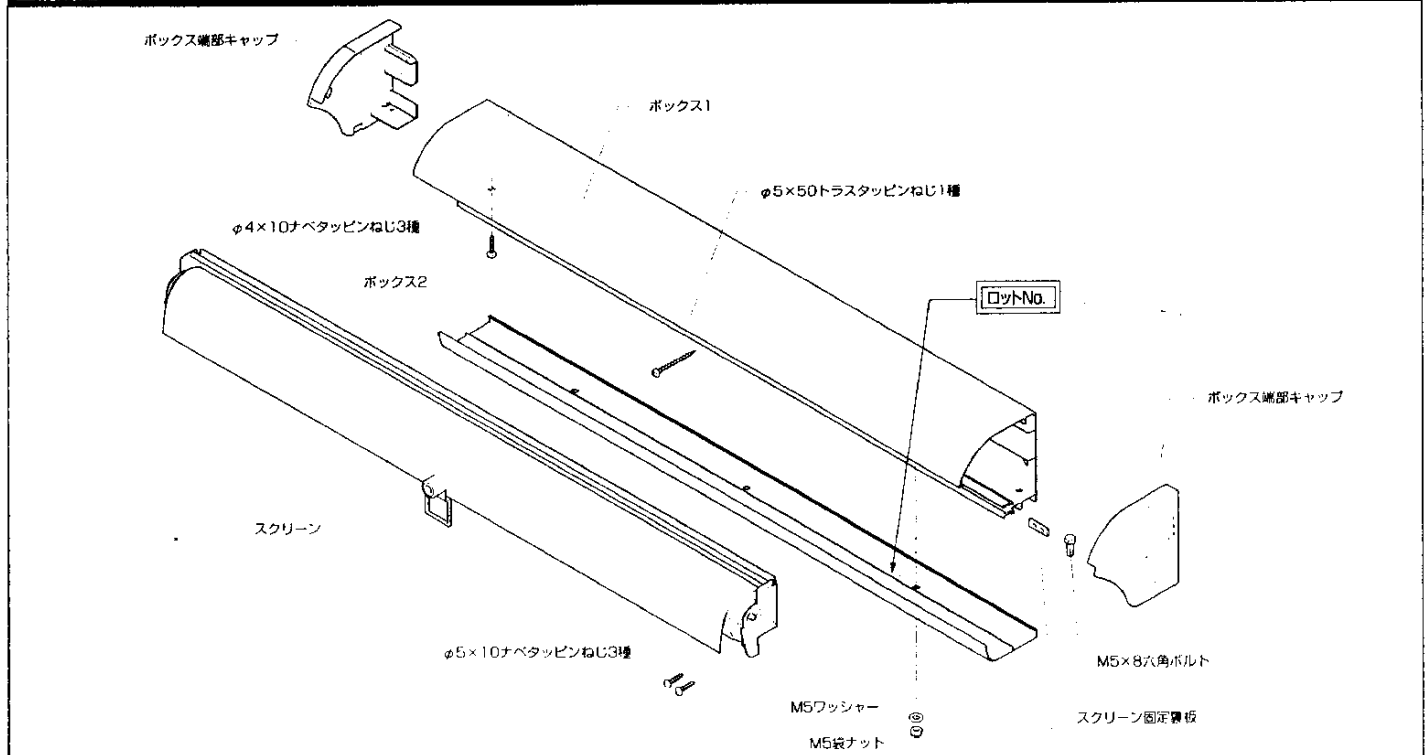
■完了時の注意事項

- ・ボルト及びねじ類に緩みやガタつき、その他使用上危険な個所などがないか点検してください。
- ・製品の外観に有害なキズ・ヘコミ等がないか確認してください。
- ・取扱い説明書に基づき製品の使い方（施錠・電装品の操作方法等）や保守・点検方法およびメンテナンス方法を必ずお施主様へ説明してください。

※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・シーリング指定個所には、必ずシーリング材を充てんしてください。

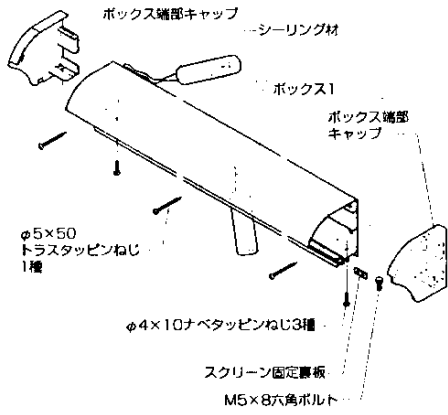
■構成図



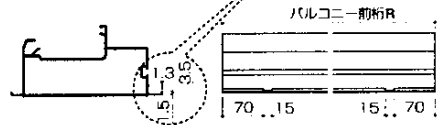
■取付け順序

1 ボックスの取付け
(壁付けタイプ)

- ① 躯体にφ5×50トラスタッピンねじ(1種)でボックス1を取り付けます。
*必ず柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
- ② ボックス1の下面にM5×8六角ボルト(1~1.5間用3本、2間用4本)、スクリーン固定裏板(スクリーン1本に対して2個)を差し込み、ボックス端部キャップを取り付けます。

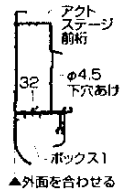


*ブロードステージA型の場合
ブロードステージ前桁フィンの
両端を切り欠いてください。



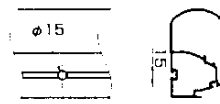
(テラス・バルコ取付けタイプ)

- ① ボックス1・2を図のように加工します。
- ② ボックス1にM5×8六角ボルト(1~1.5間用3本、2間用4本)、スクリーン固定裏板(スクリーン1本に対して2個)を差し込み、ボックス端部キャップを取り付けます。
- ③ ボックス1をテラス前枠、バルコニー前桁に取り付けます。(アクトステージの場合、ボックスの加工穴に合わせて、φ4.5の下穴を開けて取り付けてください。この時、ボックス1と前桁の外面が合うように取り付けます。)

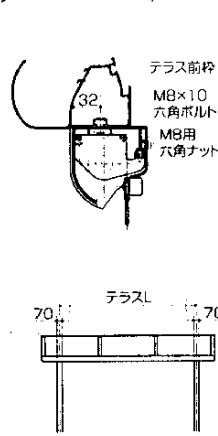


▲外面を合わせる

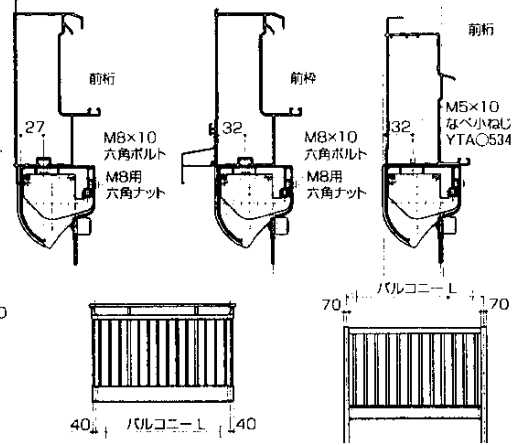
*テラス、ブロードステージに後付けする場合は、下図のようにボルトホール部にφ15の加工をしてボルトを差し込んでください。(加工位置はボックス取付けボルト位置と重ならないように気を付けてください。)



●テラス

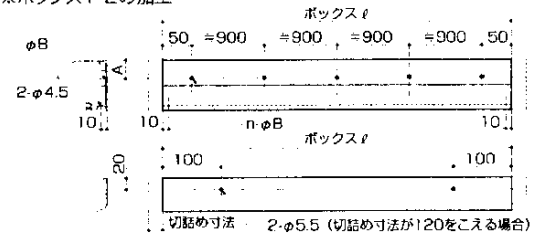


●ブロードステージA型 ●ブロードステージBC型 ●アクトステージ



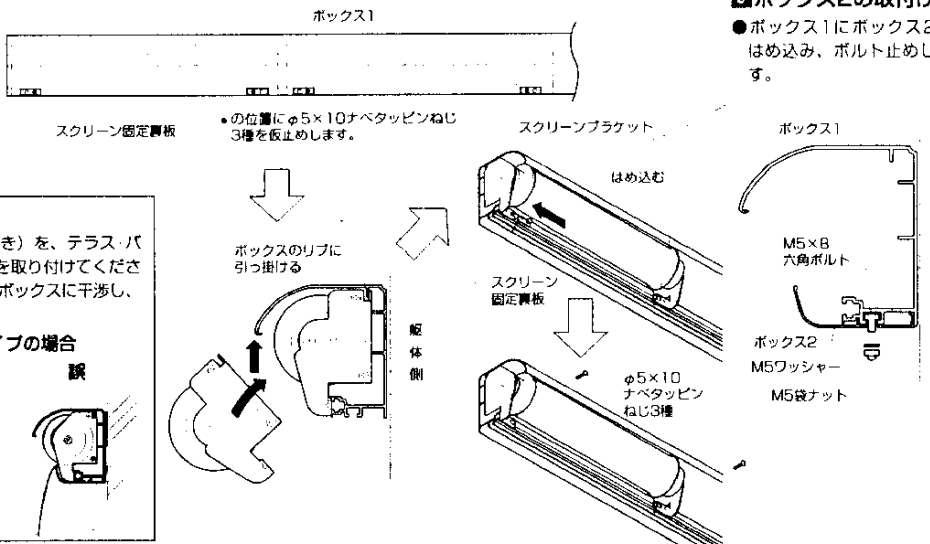
		ボックス1・2		A	B
テラス	テラス=テラスL-85	32	φ9		
	テラス屋敷=テラスL-142				
ブロードステージA型	バルコニーL-208	27	φ9		
ブロードステージBC型	バルコニーL-208	32	φ9		
アクトステージ	バルコニーL-147	32	φ6		

*ボックス1・2の加工



2 スクリーンの取付け

- ① 右図に示すように、スクリーン固定裏板にφ5×10ナベタッピンねじ(3種)を仮止めします。
- ② ボックス1のリップにスクリーンを引っ掛け、スクリーンブラケットにスクリーン固定裏板に仮止めしたねじをはめ込みます。
- ③ スクリーン固定裏板のもう一方の穴にφ5×10ナベタッピンねじ(3種)をねじ込み、仮止めのねじを本締めします。



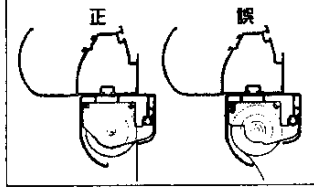
3 ボックス2の取付け

- ボックス1にボックス2をはめ込み、ボルト止めします。

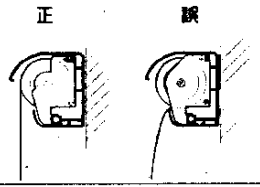
■スクリーンのタイプ

壁付けタイプの場合は、壁付け用スクリーンセット(逆巻き)を、テラス・バルコ取付けタイプの場合は気象鳥用前面スクリーンセットを取り付けてください。壁付けタイプに気象鳥用を取り付けると、スクリーンがボックスに干渉し、巻き上げ不良につながります。

テラス・バルコ取付けタイプの場合



壁付けタイプの場合

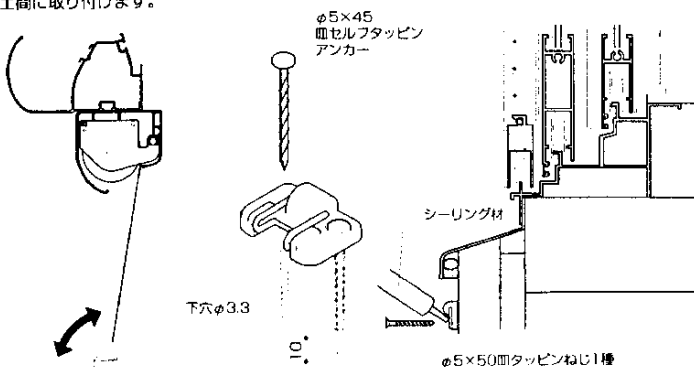


4 フック金具の取付け

- スクリーンフック金具を土間に取り付けます。

(土間に固定する場合)

(間口下に固定する場合)



■スクリーン取付け制限

- 直線限界を超える距離での固定は行わないでください。製品破損につながります。
- 直線限界…生地をピンと張った状態で限度テープが見える距離

		(単位:mm)	
スクリーンL	直線限界		
2500	2350		
3000	2800		

直線限界

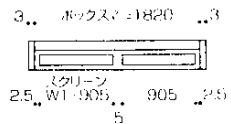
限度テープ

ピンと張る

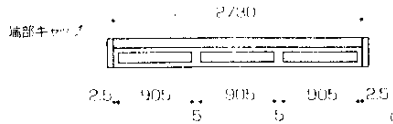
■スクリーン取付け図

(壁付けタイプ)

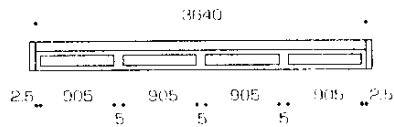
■1.0間



■1.5間

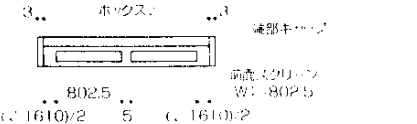


■2.0間

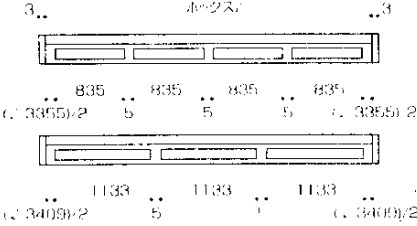


(テラス・バルコ取付タイプ)

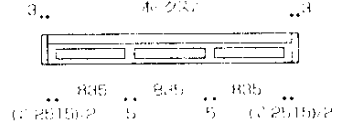
■1.0間



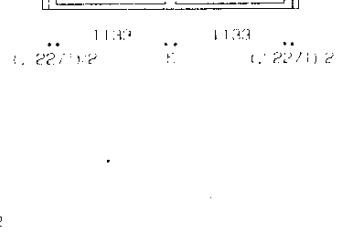
■2.0間



■1.5間



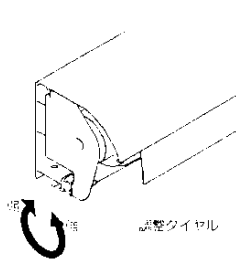
■2.0間



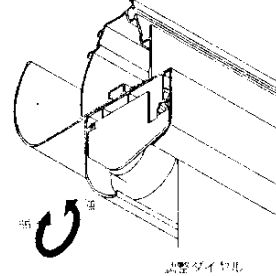
■スクリーン巻き上げテンションの調整

- 巻き上げテンションを調整する場合は、調整ダイヤルを回します。「強」方向→巻き上げ力が強くなります。「弱」方向→巻き上げ力が弱くなります。

(壁付けタイプ)

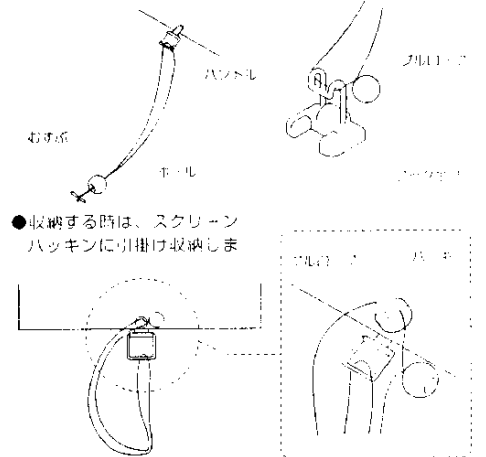
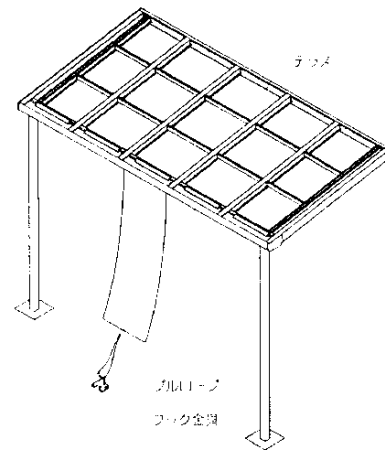


(テラス取付けタイプ)



■プルロープの使用法

- 天井フック仕様等でスクリーンを途中で止めて固定したい場合は、プルロープを使用します。
- プルロープをおこのみの長さでカットし、ハンドル、ボールに通して結びます。
- 固定する時は、フック金具に引っ掛け固定します。



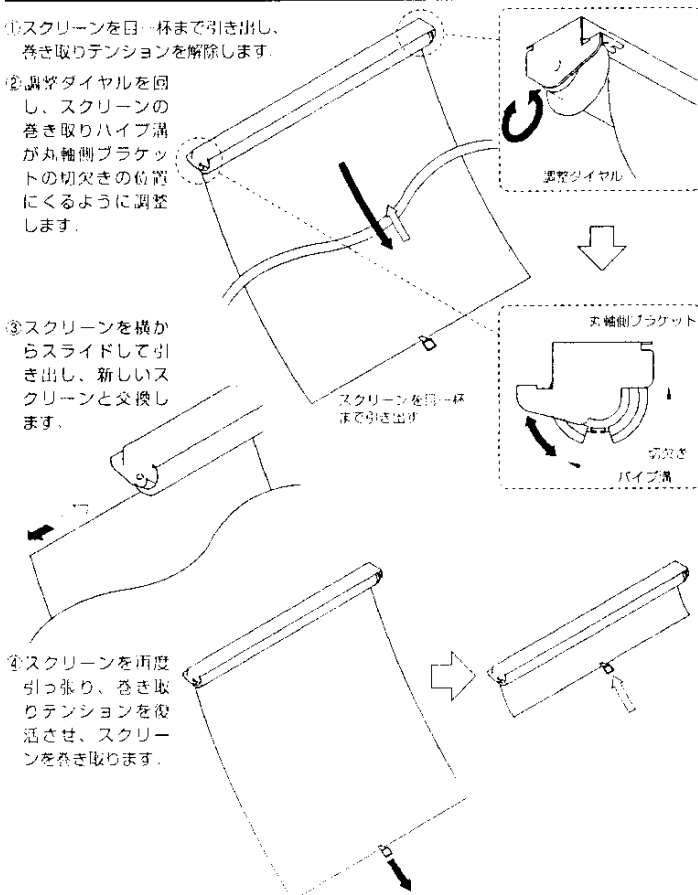
■スクリーンの交換方法

①スクリーンを目一杯まで引き出し、巻き取りテンションを解除します。

②調整ダイヤルを回し、スクリーンの巻き取りハイブ溝が丸軸側ブラケットの切欠きの位置にくるように調整します。

③スクリーンを横からスライドして引き出し、新しいスクリーンと交換します。

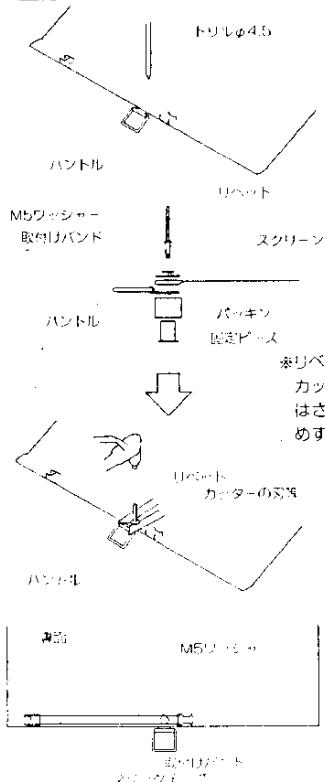
④スクリーンを再度引っ張り、巻き取りテンションを復活させ、スクリーンを巻き取ります。



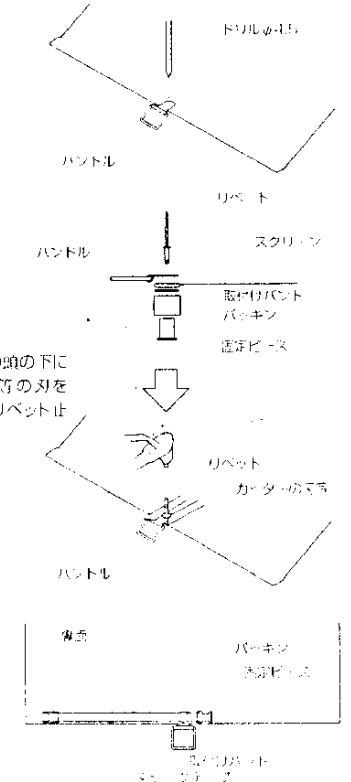
■取付けバンドの交換方法

①ハンドルをとめているリベットにφ4.5のドリルで穴をあけて外します。②取り付けバンドを交換し、φ4.8リベットで固定します。
※固定する際は、リベットの頭にカッターの刃等をはさみ行ってください。

(壁付けタイプ)

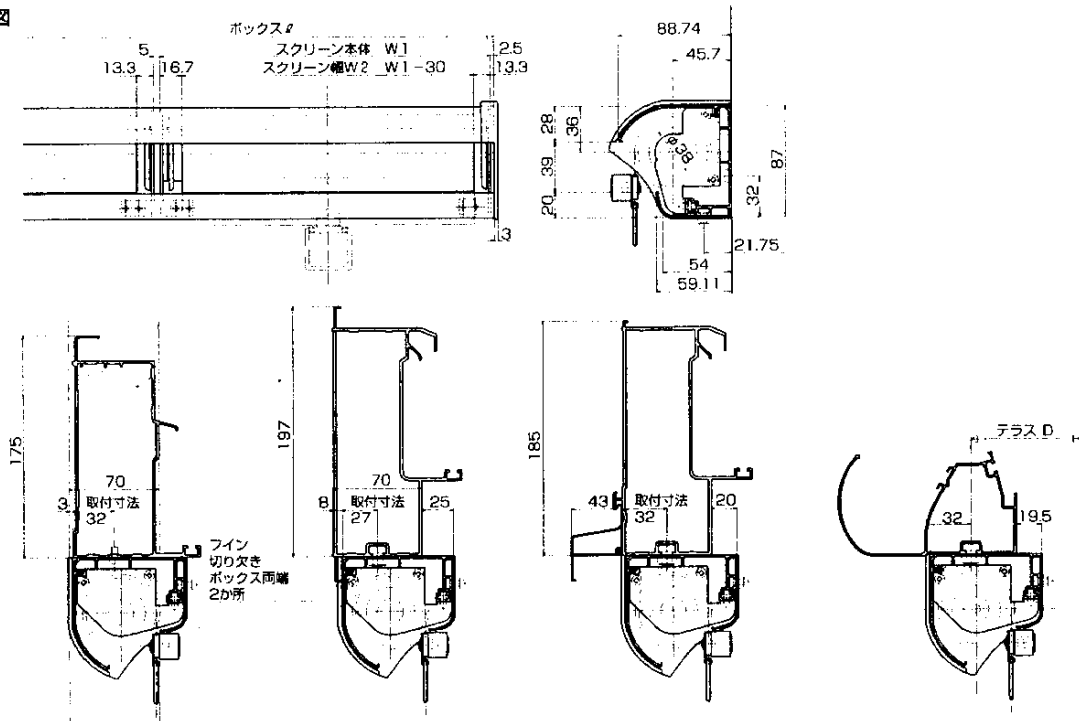


(テラス取付けタイプ)



■参考納まり図

●基本図



アクトステージ納まり

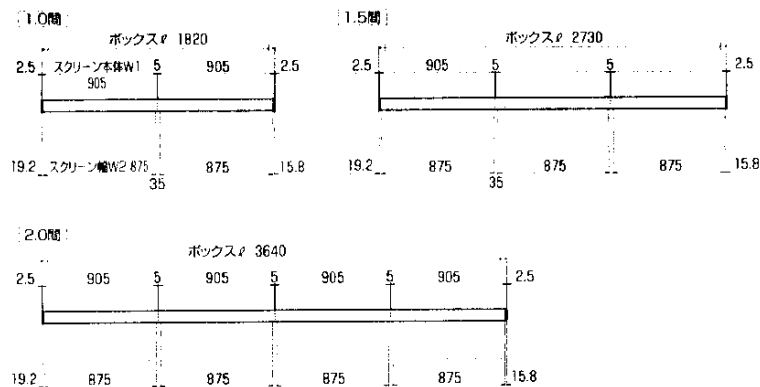
ブロードステージA型納まり

ブロードステージB.C型納まり

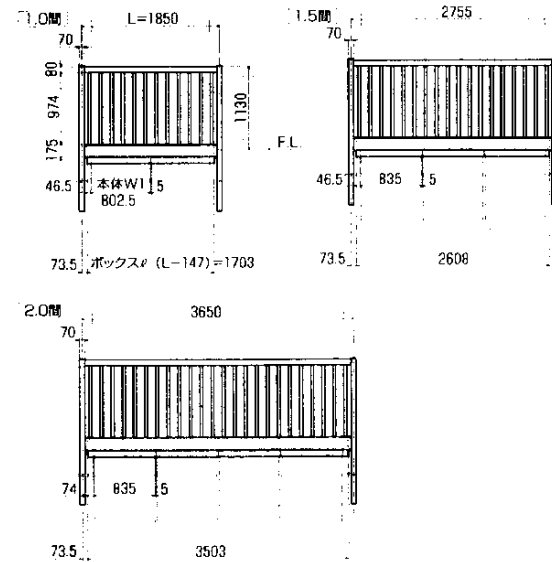
テラス納まり

●姿図

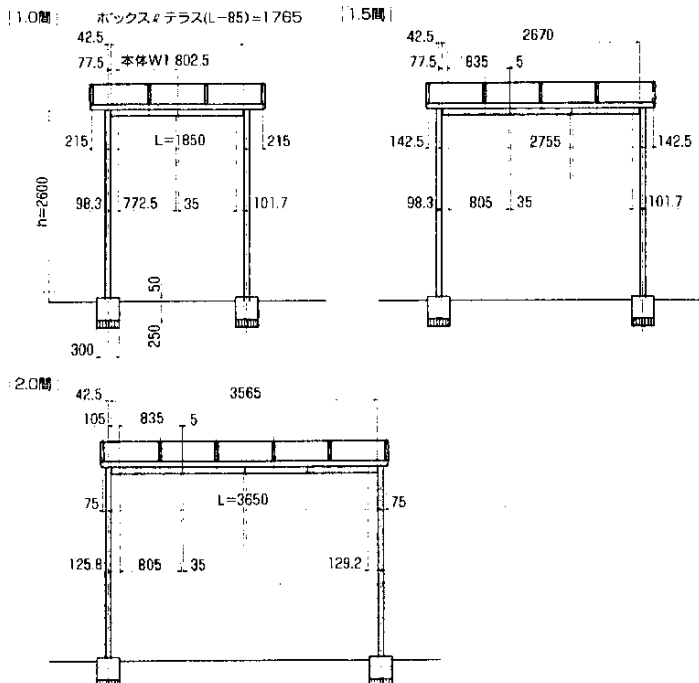
■壁付けタイプ



■アクトステージ取付けタイプ



■テラス取付けタイプ



■ブロードステージ取付けタイプ

